

# 航空機による北海道本島側からの 北方領土上空慰霊等について

北海道北方領土対策本部では、10月21日(水)、25日(日)に千島連盟との共催により、チャーター機による北方領土上空慰霊を実施しました。

2日間で元島民等の皆様87名をはじめとする合計125名のご参加をいただき、約1時間のフライトを5回行い、上空から黙とうによる慰霊を行いました。

## 1 出発式

- ・ 航空機への搭乗前に根室中標津空港において、出発式を開催しました。
- ・ 第1便の出発式では、鈴木直道知事が挨拶し、「島民の皆様にとって彼の地に眠る先人に思いを馳せていただく機会となることを祈念する」旨述べられました。
- ・ また、ご来賓として、国会議員や道議会議員、根室管内の首長等の皆様にもご参加をいただきました。



出発式の様子

## 2 上空からの慰霊

- ・ 上空からの慰霊は、北海道エアシステム(HAC)のチャーター機により根室中標津空港(中標津町)から飛び立ち、知床半島から根室半島までの沿岸上空を往復する約1時間の飛行ルートで実施しました。
- ・ 機内では、国後島の西側(知床半島の羅臼町)、南側(野付半島の別海町、標津町)及び歯舞群島が見える根室半島納沙布岬(根室市)の3か所の上空で、それぞれ30秒間の黙とうを実施し、搭乗された皆様はそれぞれの想いを胸に慰霊をされていました。
- ・ 両日とも、概ね天候は良好でしたが、21日は根室半島上空に、25日は知床半島上空に雲がかかっていました。そのため、フライト便によっては、残念ながら一部見ることでできない四島(しま)もありましたが、元島民等の皆様には彼の地に眠る先人に思いを馳せていただく機会となりました。

中標津空港から出発



航空機に搭乗



鈴木知事と元島民



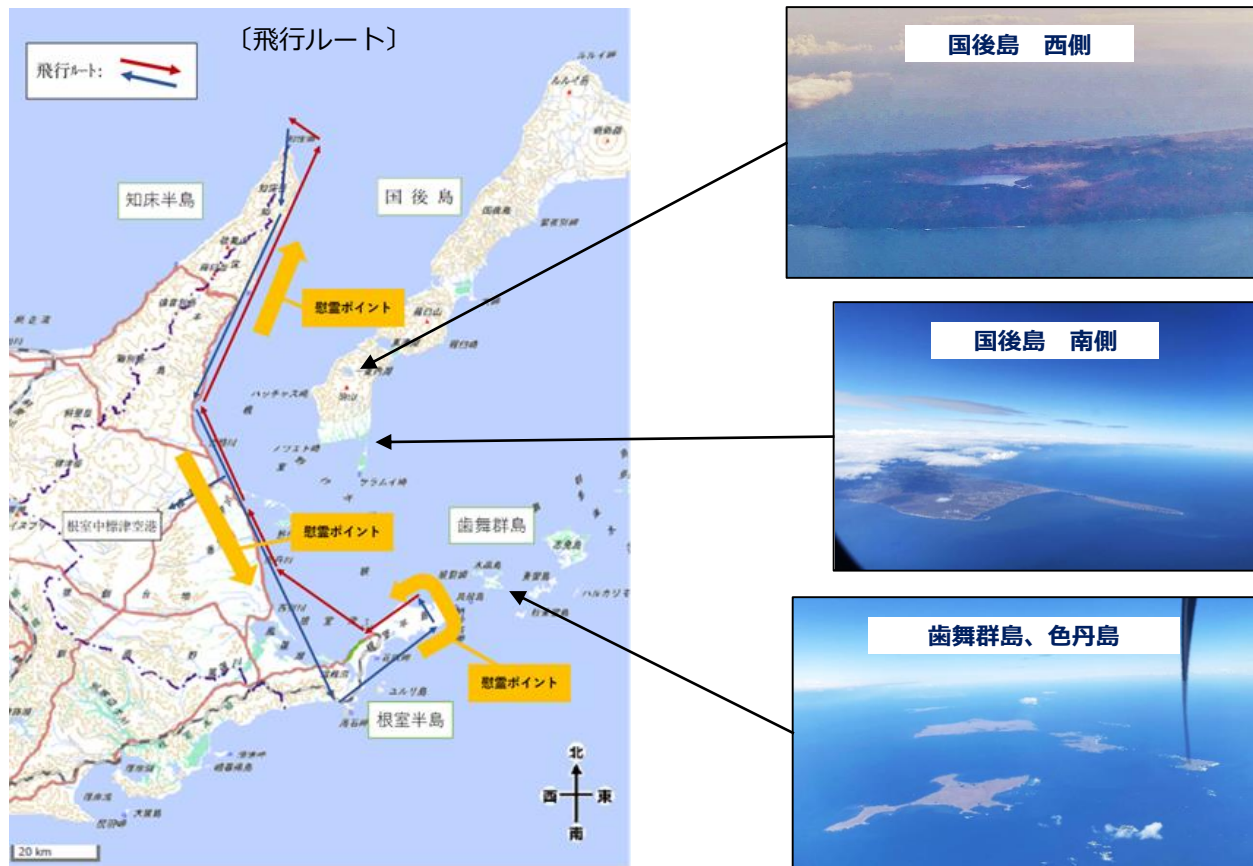
機内の様子



慰霊(黙とう)



## 【フライト実績等】



## 3 上空慰霊に参加した元島民等との昼食・懇談

- ・ 知事は、中標津町内において、北方領土の元島民団体である千島連盟の協理事長をはじめ、第1便に搭乗された元島民等の方々などと昼食をとりながら、上空慰霊の感想等を伺いました。
- ・ 元島民等からは、上空慰霊に対し一定の評価をいただいた一方、新型コロナウイルス感染症の影響下であっても対策をしっかり講じて、北方四島に上陸しての墓参をはじめとする北方四島との交流等事業の実施を切望する声や全国的に啓発事業に力を注ぐ必要性についてのご意見をいただきました。
- ・ 知事からは、今回の上空慰霊はあくまで緊急的な対応であり、この感染症の状況下であってもしっかりと交流等事業ができる形をつくっていくことが大事である旨述べた上で、国内世論の喚起や北方四島との交流推進など、北方領土問題解決に向けて、知事として誠心誠意取り組んでいく強い想いを伝えました。



昼食・懇談の様子

北方領土イメージキャラクターのエリカちゃん、エリオくん公式ツイッターにも、当日の様子が公開されています。

エリカちゃん公式ツイッター@hoppou\_erika  
[https://twitter.com/hoppou\\_erika](https://twitter.com/hoppou_erika)

エリオくん公式ツイッター@hoppou\_erio  
[https://twitter.com/hoppou\\_erio](https://twitter.com/hoppou_erio)